

理由書

今市町は、守山市中央部の田園地域に位置し、市街化調整区域に属している既存集落地域である。豊かな田園を有し、風光明媚な琵琶湖、比叡山および比良山が望める自然環境に恵まれた地域である。また、JR守山駅から播磨田町北交差点近くの河西口バス停までは15分に位置し、大津湖南幹線および県道守山栗東線にも隣接する等交通の便利성이高い地域である。

地区内には、天智天皇ゆかりの皇小津神社を有しており、大正9年に時の記念日が制定されてから毎年学区内の有識者、来賓等を招いて厳かに式典が執り行われてきた。しかしながら、少子高齢化の進行により、自治会運営およびまちづくり活動の維持が困難になっていることに加えて、進学、就職等に伴う若年層の都市部への流出、生活様式の変化等により、集落内に空き家が発生し、良好な居住環境を維持することが困難になっている。

また、建築物の密集地、狭あいな道および所々に行き止まりの箇所があるため、地域の防災機能に課題を有している。

以上のことから、集落の良好な居住環境を形成し、安全で住みやすい住宅地域として地区全体で、豊かな自然環境と調和した居住環境を守り、集落の活力およびコミュニティの維持・改善を図るために、地区計画を決定するものである。